

# 平成29年度第5回太田地域協議会会議録

平成30年1月30日

太田地域協議会

## 平成29年度第5回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■市民サービス課長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■報告	3
(1) 地域づくり事業補助金（地域枠予算Ⅲ型）実績報告	3
■協議	5
(1) 平成29年度地域枠予算執行事業について	5
(2) 地域づくり事業補助金（地域枠予算Ⅲ型）の検証について	14
■その他	20
■閉会	22
■署名	23

## 平成29年度 第5回太田地域協議会 会議録

---

■日 時：平成30年1月30日（火） 午前10時03分

■会 場：太田支所 2階 会議室

■出席委員：10名

水谷 英明、 富木 勇、 根本 昇、 高橋 洋、  
長澤 仁十郎、 佐藤 田鶴子、 小松 江里子、 水谷 仁光、  
鈴木 賢一、 倉田 吹紀子

■欠席委員：7名

清水川 絵美、 伊藤 勝良、 川原 猪利、 小柳 真理子、  
小松 泉、 倉田 満法、 高橋 睦子

■出席職員：7名

谷口 藤美（市民サービス課長） 野中 正幸（農林建設課長）  
黒澤 伸朗（農林建設課参事） 藤澤 寿史（太田公民館長）  
倉田 康弘（東部新規就農者研修施設主席主査）  
高橋 正人（地域活性化推進室副主幹） 菅原 直久（地域活性化推進室副主幹）

■次 第：

- 1 開 会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 支所長あいさつ
  - 4 会議録署名委員の指名
  - 5 報 告
    - (1) 地域づくり事業補助金（地域枠予算Ⅲ型）実績報告
  - 6 協 議
    - (1) 平成29年度地域枠予算執行事業について
    - (2) 地域づくり事業補助金（地域枠予算Ⅲ型）の検証について
  - 7 そ の 他
  - 8 閉 会
-

(午前10時03分 開会)

### ○谷口市民サービス課長（以下「谷口課長」と表記）

おはようございます。煤賀支所長は下で、職場にはおりますけれども緊急の用事が発生しまして、市民サービス課の谷口が支所長の代わりということで今日務めさせていただきたいと思います。どうかよろしく願いいたします。

そうすれば、定刻を若干過ぎましたけれどもただいまから地域協議会を始めさせていただきたいと思います。会議を始めます前に、本日の協議会は委員の2分の1以上の方が出席しておりますので、本協議会は成立いたしますことをご報告いたします。

また、会議録作成のために皆さん発言の際はマイクを使ってくださるようお願いいたします。

会議の進行につきましては、規定により水谷会長をお願いいたします。

### ○水谷太田地域協議会会長（以下「会長」と表記）

今日は本当に大雪のところ出席いただき、どうもありがとうございます。今年1月もあと終わりなんですけれども、はじめということで遅いんですけれどもあけましておめでとうございます。今年もなんとかよろしく願いいたします。

去年は雪が少なくて、降っても雨が降ったり晴れたりして解けたんですけれども、今年に入ってからすごい大雪になりまして、私は高齢者の方の仕事をしていますけれども高齢者世帯の所とか一人暮らしの所で結構、解けない所は積雪量が結構あるようで、積もっている所はやはり屋根を見るとかなりの量が積もっているようでした。2月4日に雪まる隊の方の除雪ボランティアがあるということで通知をいただいて、火まつりの次の日ですけれどもあまり深酔いしないようにして出席をしようと思っています。皆さん今年も体に気を付けて、今インフルエンザも結構学校の方で流行っているようですので十分体の方には気を付けて今年もよろしく願いいたします。

それでは、ただいまから平成29年度第5回太田地域協議会を開会いたします。

それでは、今日は谷口課長の方からご挨拶をいただきたいと思います。

### ○谷口課長

私も新年の挨拶を忘れておりました。なんとか今年もよろしく願いいたします。

ここ数日大変雪が降っておりまして、雪が降ると雪国は経済が循環するそうであります。雪が降れば除雪業者さんが動いて、スキー場も動いて、スキー場に納めるうどんとかそばとかそういった類の業者さんが動いて、雪国はやっぱり雪がなければ経済が動かないという面があるようですので、日々皆さん除雪作業大変ですけれどもそういったこともありますので、ちょっと我慢しなければならぬのかなというふうに思っております。今朝8時半現在の雪の状況の表を急いでプリントしてきましたので、今皆さま方にお渡しします。今日、雪害対策室というのを大仙市の方で立ち上げたそうです。大仙市8地域ある中で大曲と南外が雪の深さですけれども120センチを超えたということで、対策室ということ

で今立ち上げたそうです。いろいろ災害があったときにいろんな組織が立ち上がるわけですが、対策室というのは一番下のレベルです。これから対策部、本当に大きくなれば対策本部というような形になります。今皆さんのお手元に渡したのを見ますと、太田の中では108センチと。この108センチの数字はどこから持ってきているかと言いますと、ちょうど太田中学校のグラウンドの所に計測する棒を立てています。それを隣の会議室の方から三脚を立てた測量のカメラみたいなのがあるんですけども、それで太田中学校のグラウンドの所に立てた雪の状況を毎日測っているような状況です。それぞれ支所によっては役所の前だったりということで、若干地域によって測る場所にも差があるんですけども、まず太田では夕べから28センチ降って108センチと。1月23日からの累計ですけども、太田の中で170センチと。実際は去年から含めれば多分3メートルくらいにはなっているかと思えますけれども、まずこのような状況で、太田だと平均よりもちょっと多いのかなと。一番多いのが神岡、大曲それから南外といったところです。どうも今年は西部の方が比較的雪が多いような状況です。皆さん大仙市でどこが一番雪が降っているのかちょっと興味があるかと思えますので、この資料を渡した次第です。

本題の方に戻ります。本当に今日はお足元の悪い中お集まりいただきましてありがとうございます。地域協議会も4月から新しく一部委員が入れ替わりまして今回5回目と。ほぼ1年近くなりましたので、新しく委員になられた方々も大体地域協議会というのがどういふものか分かってきたようになったのかなと思っております。今日も協議案件がいろいろ載っておりますので、なんとかこれからもよろしくお願ひしたいと思ひます。

会長も先ほどお話がありましたけれども、このような状況ですので2月4日、朝9時コミュニティプラザ、元の保健センターの前に除雪ボランティアの人たちが集合して、一人暮らしの家だとか高齢者だけの世帯だとかということで除雪に行くことになっております。もしこの場にいらっしゃる皆さま方もご協力いただけるようであればご協力願ひたいと思ひます。あと今回太田中学校の生徒さんたち約30名、ボランティアということで出動して下さるそうです。主に角六線沿いの歩道の辺りを除雪するようなことも言っておりますので、そういったこともありますのでもしご協力願ひえるようであればよろしくお願ひしたいと思ひます。今日はどうかよろしくお願ひいたします。

## ○会長

ありがとうございました。

次に、次第4の「会議録署名委員の指名」をさせていただきます。会議録署名委員は、高橋洋委員、佐藤田鶴子委員にお願いいたします。

それでは、次に次第5の「報告」に入ります。地域づくり事業補助金（地域枠予算Ⅲ型）実績報告について、事務局から説明をお願いいたします。

## ○事務局（地域活性化推進室）

【地域づくり事業補助金交付事業の実績について、配付資料に基づき説明】

○会長

ただいま、地域づくり事業補助金の実績報告について事務局から説明がありました。皆さんからご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。高橋洋委員。

○高橋洋委員

一点だけ。事業の経費に係る領収書の写しというのが資料の中にはなかったと思うんですけども、多分事務局でいろいろお持ちだと思っんですけども、今度から添付していただければなと思います。

○事務局（地域活性化推進室）

一応報告ということでしたのであえて、向こうから実際に送られてきた実績報告には領収書が添付されておりますけれども、資料の量が多くなるということもありまして実績報告書の上紙と内容が分かる写真や資料だけ載せておりましたけれども、今後検討させていただきたいと思っております。

○会長

他にございませんか。佐藤田鶴子委員。

○佐藤田鶴子委員

中学校の自己資金、決算書のところなんですけれども、これは太田中学校応援隊の会費の方から出ていることよろしいですか。

○事務局（地域活性化推進室）

はい、そうです。応援隊の会費の中から支出しております。

○佐藤田鶴子委員

全てですか。

○事務局（地域活性化推進室）

はい。この8万9,505円のところです。

○会長

他にございませんか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○会長

ないようですので、本件についてはただいまの説明のとおりいたします。

次に、次第6の「協議」の方に入ります。はじめに（1）平成29年度地域枠予算執行事業について、事務局から一括して説明をお願いいたします。

## ○事務局（地域活性化推進室）

【平成29年度地域枠予算執行事業について、配付資料に基づき説明】

### ・実施類型Ⅰ型

#### 1. 倉田政嗣パンフレット増刷事業

事業目的：秋田県民歌の作詞者である太田地域出身の倉田政嗣について、地域の誇りとして後世に伝えることを目的に、倉田政嗣と県民歌について紹介したパンフレットを作成しているが、パンフレットを希望する県内外からの問い合わせが多いことから、残部数を考え増刷するもの。

申請団体：太田支所（市民サービス課）

申請額：194,400円（印刷製本費）

#### 2. 太田地域マスコットささ太着ぐるみ修繕事業

事業目的：太田地域のマスコットキャラクターとして作られた「ささ太」だが、平成24年に製作した着ぐるみの牙部分が破損してしまった。今後も地域内外のイベント等に出演する機会があることから、補修するもの。

申請団体：太田公民館

申請額：56,160円（委託料）

#### 3. 陶芸窯改修事業

事業目的：太田公民館所有の陶芸釜が、使用頻度の高さなどで灯油バーナーが故障し温度が上がりにくい状態となり、作品づくりが困難となっている。焼き物講座や親子陶芸教室などの生涯学習講座で多く使用されることから、創作活動に支障をきたすことのないよう改修するもの。

申請団体：太田公民館

申請額：192,196円（委託料）

### ・実施類型Ⅱ型

#### 1. 大台スキー場桜並木保全事業

事業目的：大台スキー場は「太田交流の森」として四季を通じた活用がされており、春には黄桜並木、ソメイヨシノ、カタクリなどが楽しめる場所となっているが、グレンデ南側に広がるソメイヨシノの並木がテング巣病に罹患し、景観を損ねている他、樹勢が弱まっている木も見られる。住民の憩いの場にもなっていることから、今後も美しい景観を保てるよう罹患枝や枯損枝の除去・剪定を行うもの。

申請団体：太田の自然・農村資源の利用を考える会

申請額：499,500円（使用料及び賃借料、消耗品費等）

・実施類型Ⅲ型

1. 国見ささら継承事業費補助金

事業目的：昭和39年に秋田県無形民俗文化財に指定された国見ささらだが、演舞時に使用している半天や旗が劣化し、地域の伝統行事の維持に支障をきたしている。400年以上続く伝統文化が廃れることのないよう、保存会が行う修繕費用の一部を補助するもの。

申請団体：国見ささら保存会

申請額：187,000円（補助金）

○会長

ただいま平成29年度地域枠予算執行事業の概要について説明がございました。皆様の方からご質問・ご意見の方よろしくお願いたします。はい、水谷委員。

○水谷仁光委員（以下「水谷委員」と表記）

倉田政嗣のパンフレットの増刷事業なんですけれども、私だけかも知れませんが、事業の目的の中に今年は50年になるので県の事業が予定されているというような計画があります。これとの関わりというのはどうなんでしょうか。県の事業だとすればむしろこちらの方に働きかけて、こういうお金はもっと別に使った方がいいのかなというふうには思うんですが、関わりとしてどんなものかなと思って聞きました。

○谷口課長

私の方からお答えさせていただきたいと思います。大いなる秋田は皆さんご承知だと思いますけれども、あれは明治100年を記念して秋田県が石井欽という作曲家に頼んで作った楽曲だそうです。今年明治150年、明治元年から始まっての150年ということで、ちょうど50年になるということで、ちょっと我が家は実は魁新聞とってなくてあとで見ただんですけども、確か1月の元日か3日かの魁新聞の第1面にドンと大いなる秋田の記念公演を10月にやるのが大きく載っていました。実は私も去年、大いなる秋田が来年150年だなということで太田でも何かやろうかなと思っていたところ、県の方でやるということで、私が考えていたような内容とダブっていて、そうすれば別のことをやろうかなと思っているんですけども、まず県の事業とは全く切り離して考えているものです。平成26年に倉田政嗣生誕120年ということで大々的に、太田文化プラザでやればよかったんですけども会場が狭いということでドンパルを借りて、当時500人以上の方々が集まって倉田政嗣生誕120周年記念事業をやりました。そのときは町内の小学校・中学校のステージ発表もあって、山形大学の佐川馨先生の記念講演もやって、最後大々的にみんなで県民歌を歌うということで、そのときにちょっと私パンフレットを作ったん



ですけれども、それにさらに加えて当日の佐川先生の講演内容を含めて作ったものです。これは平成27年だったか、太田の偉人を顕彰する会という組織がありまして、倉田政嗣部会の部会長が草薙均さん、それから鈴木空如部会の部会長が門脇一男さんだったか、ということで偉人を顕彰する会の倉田政嗣部会の方で確か27年の暮れだったと思いますけれども、全戸配布しております。実はこれではなくて役所の印刷機で刷った、これと内容は全く同じです、これに加えて秋田県民歌を収めたCDをセットにして配布しております。それはまず太田の方には全戸配布して、これは太田町のPR向けに印刷したものだだったんですけれども、もちろん太田の人たちも結構下さいということで来ます。誰かから聞いて、私にも下さいということで結構町外から来るんですよ。しかも宮城県だとか秋田県出身の方々が誰かから聞いて、下さいと。直接取りに来て下さる分には差し上げていますけれども、これ1冊送るのに250円かかるんですよ、実は。まず郵送料は負担してもらっていて、切手を送ってもらえば送るからということで、28年に大体収まっただろうと思ってまず500部増刷させてもらったら、今150部くらいしか無くなりまして、そういったことで県は県としてやるんでしょうけれども太田は太田として倉田政嗣を顕彰することと、県民歌は太田が発祥の地というわけではないんですけれども、成田為三さんの方が超有名でなかなか太田の部分が薄い部分があるんですけれども、成田為三に負けないくらい太田も関わっているんだということをお示ししたくて作らせていただきたいなと思っています。前回思い切って1,000部とか印刷すればよかったんですけれども、多分あと落ち着くだろうなと思ったら全然落ち着かなくて結構出ていまして。印刷所の方には版がありますので500部印刷すると1部240円になります。裏に見積りが付いていますけれども、1,000部だとガクンと下がって1部180円くらいと。まず500と1,000と6万円しか変わらないのであれば今回思い切って1,000部印刷させていただきたいなというふうに思っています。また、文化講演会のときとかに抱き合わせでまた何か県民歌に関するような、倉田政嗣を顕彰するようなちょっとしたコンサートか何か開ければいいのかなというふうに思っています。県の方は10月ということでしたので、例年であれば太田の文化講演会は9月頃でしたので、ちょっと早く太田の方で何かできればいいかなというふうに、今ちょっと考えているんですけれども新年度になったら具体的に考えたいなというふうに思っていますので、よろしく願いいたします。

## ○水谷委員

分かりましたけれども、もしそうだとすればこの県とか何とかというのは抜いた方がいいと思います。ここ単独でやるのであれば、説明を聞いた人は分かるんですけれども説明を聞かない人はほとんど分からなくて、同じような懸念がされると私は思いますので、県事業が計画されているなんていうのは入れなくても十分趣旨としてつながるので。必要で作るのですから、別に反対するわけでも何でもないと思いますのでこの部分は入れなくてもいいと私は思います。以上です。

## ○会長

他にございませんでしょうか。はい、水谷委員。

### ○水谷委員

もう一つよろしいでしょうか。何か私だけしゃべって大変恐縮ですけれども、マスコットのささ太なんですけれども、壊れたものを修理するのは一切反対はございません。是非やってほしいと思います。あちこちから来てこのくらい活用されているというか、触ったりしてみんな興味を持って見ているというのは私もよく見ていますから分かりますが、このささ太の帰属する、何と表現したらいいか、要はこれは大仙市のものでも誰でもなくて、どこかで作ってもらった、権利ある人がいるはずなんだよね。だから、パンフレットに名前を載せなければ着ぐるみが使えないとか何か確か。そういったことを聞いたことがあるので、その辺りの関わり。牙を直すのが悪いとかいいとかじゃなくて、こういうときにキッチリしていた方が、著作権とかいろいろ確かあったと思います。もし間違っていたらごめんなさいですけれども、これを付けるためにスポンサー代わりに何とかというのも確かグラウンド・ゴルフであったように記憶していますので、牙を付けるのは駄目だとは言わないと思うんですけれども何かのときに引っかかれば、直すのは引っかからないと思いますけれども確かあったと思いますので、参考までにお聞きします。以上です。

### ○藤澤太田公民館長（以下「藤澤館長」と表記）

お答えします。このささ太の着ぐるみは平成24年に地域枠予算を活用して作ったわけですけれども、作った当時の人の話によりますと販促という大曲の広告代理店会社にお問い合わせして作ったそうです。確かに販促の方にそういうささ太の権利というか、あるようなんですけれども、通常使用するささ太のタイプと女の子のイメージのささ子は通常の範囲では使って大丈夫だというふうに聞いております。確かに販促にはデザインの権利は持っているようなんですけれども、通常の使用では大丈夫だというふうに伺っておりますので、これまでどおり使って大丈夫だと認識しております。どうかよろしく願いいたします。

### ○会長

このものの所有者というのは公民館ですか。

### ○藤澤館長

もちろん着ぐるみの所有は、太田支所で作ったわけでありまして、あくまでも現物の所有者は太田支所になります。当然修理も作った販促でなければできないということで販促にお問い合わせるのでございますので、どうかよろしく願いいたします。

### ○会長

ちょっと細かいことで聞きたいんですけれども、この明細の中の送料、7,000円の2本とあるんですけれども、これはどういう。

○藤澤館長

牙1本7,000円で、2本で1万4,000円ということです。

○会長

大曲からということですか。

○藤澤館長

これを直すのは販促ではなくて、そういう専用の着ぐるみを直す業者がありまして、その送料でございます。

○谷口課長

余談ですけれども、例えば大仙市もマスコットのまるびちゃんとか、中仙で言えばドンパンじっちゃとかですけれども、基本的に非常に頭が大きいんですね、みんな。例えばこれをふるさと会とかで送るとなれば頭が大きすぎてかなり送料がかかるらしいです。通常範囲ではなくて。多分歯だけではなくてそのものを送るから。

○野中農林建設課長（以下「野中課長」と表記）

2本ではなくて2式になっているから、1回送ってまた戻ってよこす。往復分。販促さんで頼まれてそこの場所にささ太の頭そのものを送ってやって、また戻ってくるから1回2回。頭そっくりそこの会社に送ってやって、そしてまた戻ってくる。

○藤澤館長

往復分です。すみません、勘違いしました。

○会長

他の事業とかについて皆さんございませんか。はい、富木委員。

○富木勇委員（以下「富木委員」と表記）

国見ささらの継承についてですけれども、現在会員数というのは何名くらいになっているんですか。

○藤澤館長

現在国見ささら保存会の会員は18人だそうです。

○富木委員

長い間継承されておるとお思いますけれども、結構各地域で伝統文化の継承についてやっぱり人がいなくなってやる人がいなくなるというようなことが言われているようですけれども、ここの太田も国見、三本扇、横沢とか、そういう伝統芸能があるわけですがけれども、

この後継者とかそういう心配とか、継承について何かやっておるものでしょうか。

#### ○藤澤館長

現在太田地域でこういう伝統文化を継承している会というのは、この国見ささら保存会、横沢ささら保存会、そしてもう一つ三本扇サイサイの保存会があります。それぞれの保存会では若い人たちの後継者を育てて、20代から60、70代まで幅広くいるようになっています。現在太田地域においてのこういった保存会については後継者の心配はないものと考えております。どうかよろしく願いいたします。

#### ○冨木委員

それといろんなこういう補助金の関係で、使い道として今言った半天とかそういうものについては補助金があるということですが、結構こういう伝統文化とか継承するに当たって、その中で補助金の使い道が結構限定されて、例えばこの会の中で飲食、酒はちょっとうまくないかも知れませんがジュース等とか何かについて制約があるかと思えますけれども、こういうものも少し考えて、こういう会が自分のお金を出さなくてもジュースくらいは買えるような、そういうものを考えてはいかがかと思えますけれども。

#### ○藤澤館長

冨木委員がおっしゃったことは十分理解できますけれども、何しろ補助金ですのでいろいろ制約もございます。確か食糧費には支出はできないということになっておりますので、それは規則に則って使わなければならないので、ちょっと難しいかなと思います。ただ、他の面ではもちろん大事な伝統芸能ですので支援してまいりたいと思っております。

#### ○冨木委員

これは太田支所の中でそういうものに使えるとか、そういう枠組みを作ることは無理なんでしょうか。

#### ○藤澤館長

それはあくまでもその会の方の会費なり何なりで対応していただきたいと考えております。

#### ○会長

鈴木委員、お願いします。

#### ○鈴木賢一委員（以下「鈴木委員」と表記）

私、国見ささら保存会の役員をやっています。ちょっと一言二言話しますが、演舞が終わってからお志をいただいております。我々国見ささらをやるに当たって、実際ささらを見てもらっていると思うんですけれども、獅子が3匹、あとザツァカというやつと、あ

とオーセイというやつと、目立つのが全部で5人くらいだと思うんですが、実際のところやるに当たって最低でも10人必要です。フルでやると16人の行列になります。獅子頭、太鼓、衣装を含めてその人数が移動しなければいけないわけです、車に乗って。獅子頭と太鼓となると結構な大きさになるので、車4人乗れるところに2人しか乗れないというような感じで、そうすると車が通常ですと4台くらい出動しないといけません。我々の資金というのはそのお志だけです。特に行政関係からの依頼というか何かあって、町のお祭りだとか何かでやることがあります、そのときというのは本当にお志で、国見からここまで来るのは全然近いので問題ないんですけども、田沢湖でやるのでちょっと来てくれと簡単に言っていただきますが、実際のところ車を4台も連ねてやるということかなり大変です。ただ、今回私この補助金をいただくという件について大変ありがたく思っています。本当に少しでも入れていただくと我々非常に助かります。また、後継者の問題ですけども、実際のところはやっぱりかなり厳しい状態になっています。一昨年ですか、太田北小学校で一応ささらを見せまして、後継者になってくれる人、もし興味を持ったら来て下さいということで、今現状1人小学生が来てくれていますが、なかなかやっぱり維持するのは厳しい状態です。今回この半天と旗ともし新調させていただけるのであれば、また見栄えのいいささらを皆さんに見せられるのかなと考えております。以上です。

#### ○会長

ありがとうございます。先ほどちょっと富木委員の質問の方で、補助金でジュース代とかそういうものを出せないかというような話ですけども、補助金の方でこれに使うと良いとか悪いというのは決まっていると思うんですけども、それを今のような後継の問題とかでいろいろあるので、太田の方の意見として一応挙げていただいたらどうかと思うんですけども。補助金の枠を決めるのは大仙市ですか、県の方とかですか。

#### ○藤澤館長

この地域枠予算の取り扱いについては昨年ちょっと見直しをして、こういう地域協議会の代表の方々に決めておる状況です。ガイドラインというか指針とかありまして、それによって定められているわけでありますので。

#### ○会長

それは大仙市で決めるんですか。

#### ○藤澤館長

そうですね。大仙市の地域協議会の代表者たちの集まりで昨年1年間見直ししたところでございます。

#### ○野中課長

会長さんたちが集まるときに、そういう話を出していただければ。

## ○会長

そういえば案内来ていました。

## ○藤澤館長

1年に2回くらい、協議会会長と副会長、大仙市の全地域が集まる会議があるので、その場とかでも話題提供という形で話していただくといくらかは市の当局の方にも伝わるのかなと思います。

## ○鈴木委員

何かのイベントとかでずっと前にわらび座のところにささらが全部集まってやったとか、ドンパン広場に全部集まってとかでやったりしたことがあるんですけども、そのときはちゃんと弁当付きます。その会によって予算の中でちゃんと弁当とお茶が来ます。ただ、その他に出演料という形で、そういうやつで5千円とか、20人くらいいるんだだけでも5千円。朝の8時頃から夜の7時頃まで、1団体で5千円です。ちょっとひどいなと言ったけれども、それはそれで知名度を上げるためにみんなやっているのです。

## ○会長

そうすれば、それを私が話せばいいんですね。確か通知が来ていましたので、今の意見はそのときに私の方からお話ししたいと思います。はい、根本委員、お願いします。

## ○根本昇委員（以下「根本委員」と表記）

私もそのことについて。今ささらの話が出ましたけれども、本当にどういう予算を基にこういう活動をしてらっしゃるのかなということはやっぱり気にしておりました。さっき聞いたとおり、やっぱりそんなに出演料というか、収入があるわけではないのにまずこれだけの、6分の5で修理する分をもらうわけですけども、実際そんなに収入を得ている団体ではもちろんないはずなので、ある意味まるっきりボランティアという形でやっていて、もしできるのであればこういう補修費くらい全部出してやりたいなど、そんな感じがします。実際5千円もらっていても、年間の収支決算とか付けてもらって具体的な内容の経済状況と言えいいか、そういったものを見た上で全額補助するとか、例えばこういう必要なものについては全額補助するとか、そういうことを考えてやれたらなと思いました。以上です。

## ○会長

他にございませんでしょうか。

（「なし」の声あり）

## ○会長

それでは、質問がないようですので、これで質疑を終了いたします。

はじめに、「倉田政嗣パンフレット増刷事業」について、地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

## ○会長

地域枠予算事業として承認いただいたものとします。

次に、「太田地域マスコットささ太着ぐるみ修繕事業」について、地域枠予算事業として承認してもよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

## ○会長

ありがとうございます。異議がないようですので、地域枠予算事業として承認いただいたものとします。

次に、「陶芸窯改修事業」について、地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

## ○会長

地域枠予算事業として承認いただいたものとします。

次に、「大台スキー場桜並木保全事業」について、地域枠予算事業として承認してもよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

## ○会長

地域枠予算事業として承認いただいたものとします。

最後に、「国見ささら継承事業費補助金」について、地域枠予算事業として承認してもよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

## ○会長

それでは、地域枠予算事業として承認いただいたものといたします。

以上で地域枠予算執行事業の協議を終わります。いろいろたくさんのご意見ありがとうございます。

ございました。

次に、(2)の「地域づくり事業補助金(地域枠予算Ⅲ型)の検証」について、事務局から説明をお願いします。

### ○事務局(地域活性化推進室)

【地域づくり事業補助金(地域枠予算Ⅲ型)の検証について、配付資料に基づき説明】

### ○会長

ただいま「地域づくり事業補助金(地域枠予算Ⅲ型)の検証」について、事務局から説明がありました。

「太田中学校被災地支援事業」が今回で3年目の補助金交付となっておりますので、事業の内容や今後の取り扱いについて、委員の皆さんでご協議いただきたいと思います。

1ページ及び2ページの適正検証項目については事務局で検証いただき、適正であるということが報告でありましたので、2ページ下段の総合検証項目から進めていきたいと思っています。

はじめに⑩の「補助金の使用用途や支払い方法は適正か」については、事務局で検証していただきました。次の⑪「多くの地域住民のための事業であるか」から進めたいと思います。この項目について委員の皆さんからご意見などがありましたらお願いいたします。はい、倉田委員をお願いします。

### ○倉田吹紀子委員

私は適正であると思います。というのは、確かに太田中学校から発信した事業ではありませんけれども、今までの経過を当初から見てきました。応援もしています。中学校の活動が小学校に反映して、子どもから家族に発信されて、情報だけではなくて何かできることがあればという考えの下に、まず今まで継続されていることが素晴らしいなと思っています。自分たちが今まではそういう大きな天災に対して、自分たちの身には起こらないだろうと私たちは育ってきましたけれども、実際あのときから今に至るまでいろんなことがあります。それを自分の身を守るために今までは支援したりしていることから、自分を守るためにはどうしよう、家族とどう取り合っていこう、そこまで中学校では話し合ったり計画を立てていく過程を見ていると、本当に派手ではないけれども着実に身に付いているし、町のどなたかからどなたかへ何か支援することがあればという輪が本当に広がりつつあると思われまます。小学生に声をかけて下さったことで、やがて小学生が中学校に行ったときにこの活動がこんなにもっと大きくなるんだなということのつながりも持てますし、毎年新しいことを始めるのではなくてこの大槌町に行くことでその成果が見られる。町のいろんな会合で一番最初にあの荒れ地に太田の花のプランターが1つあったという映像を見ることが多分いろんなところで見せていただいたと思うんですけども、そういう活動を太田中学校でやっていることに対しては地域としては誇りであるし、是非そういう部分ではこれからここで検証する部分ではそこら辺は皆さんもお話で聞いたり直に情報として



入っていることがたくさんあると思いますけれども、本当に続けてこられていることがすごいなと思うし、そこら辺は是非応援していきたいと思っていますところです。

#### ○会長

ありがとうございます。他にご意見ございますでしょうか。はい、水谷委員。

#### ○水谷委員

ざっくばらんにお聞きしますけれども、問われているのは多くの地域住民のための事業であるかどうかということだと思います。学校の授業というのは学校でやっているから、それについては今倉田委員が言ったように何らどうのこうのということでもないし、継続して下さいでもないし、やめて下さいでもないと思います。ただ、この中で言われる多くの住民が参加できていないとか、参加できるための啓蒙活動が行われていないなどということ、どうなのかなということなんですけれども、例えばいろんな広報か何かでも載せてくるときもあるし、学校の便りも何かあるし。多分地域の方というのは、応援隊の方々も一緒に行っているんですよね、これ。だから、その枠を超えてさらにもっと地域の方々が行こうとすれば、いっぱいあればいるほど経費もかかるだろうし、それぞれ大変なことになるのかなという感じがします。ですから、願わくば地域住民と学校の生徒たちがみんな行ければすごく格好いいと思うんですけれども、応援隊という一つの組織がある中でやっていくとすれば、むしろそこから輪が広がっていくような感じからやっていった方が私はいいと思うんです。ただ、やっていることをもう少し宣伝するというか、もうちょっとやればいい。今もやっているけれども、もう少し写真の大きさを大きくするとか何かしてアピールすれば、もう少しみんなの目に触れるのかなど。やっていることはみんな分かっているんですけれども。そういうことで私は十分目的は達成していると思います。ですから、このまま継続すべきというふうに思います、この11番は。

#### ○会長

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

#### ○会長

ないようですので、11番については適正と認めてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

#### ○会長

それでは、適正といたします。

次に、⑫の「具体的な成果が期待できるか」ですが、この項目についても委員の皆さん

からご意見をお願いいたします。長澤委員、お願いします。

#### ○長澤仁十郎委員

この被災地支援事業を生徒たちが中心となってやっていることによって、防災の意識が生徒たちにすごく植え付けられてきていると思います。去年の防災の事業の一つとして、体育館で避難所開設訓練をやりました。市の防災危機管理監の講評もすごくいい訓練であったという講評をいただいて、こういうことにつながるのはやっぱりこの被災地支援事業をやったからこういう意識、子どもたちの意識がこういうふうに変ってきて、訓練とかそういうことにつながっていると思っております。そのことはやっぱり地域の人にも、父母にもそういうことを家に帰って伝えることによって地域のそういう意識が変わってきて、何も災害のないところだというふうに思われていますけれども、普段からそういう意識を持つことが、家庭でも話し合われたりして、そういうことにつながっているのがこの被災地支援事業の成果の一つとして捉えれば非常に、地域の住民が参加できる事業でもあるし、参加人数の減少にもつながらないと思いますし、地域住民の意識も高まる事業だと思いますので、続けていってもらいたいと思っております。

#### ○会長

ありがとうございます。他にございませんか。

(「なし」の声あり)

#### ○会長

ないようですので、⑫について適正と認めてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

#### ○会長

それでは、適正といたします。

次に、次のページの⑬「この事業の内容や運用を改善する余地はあるか」について、皆さんからご意見をお願いいたします。

(「なし」の声あり)

#### ○会長

ないようですので、⑬について適正と認めてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

## ○会長

それでは、適正といたします。

次に、⑭「この事業は必要性のあるものか」について、ご意見をお願いいたします。

(「なし」の声あり)

## ○会長

ないようではけれども、⑭について適正と認めてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

## ○会長

それでは、適正といたします。

最後に、⑮「Ⅲ型として実施する事業であるか」について、ご意見をお願いいたします。

はい、根本委員お願いします。

## ○根本委員

今まで他の委員の方々が言ったとおり、非常に中学校をはじめ様々な方々の支援と協力で成し遂げられて、素晴らしい事業だとは思いますが。ただ、この地域枠Ⅲ型として私なりに考えてですけれども、地域の人たちが自分たちの地域のために使うべきものな部分もあるかと思えます。このお金で被災地の方々を支援するというのも立派な、さっき言われたとおり様々な防災に対するとか支援するとか、様々な効果もあるという意味ではそういうこともあるとは思いますがけれども、自分たちの地域を本当に考えたときに私からすれば決してこの地域も、防災とかそういう面についてはまず災害とか少ない場所ですけれども、どんどん高齢化して人も少なくなって地域として大変になってきているという現状の中で、もうちょっとⅢ型をもっといろんな角度からやっていく方法とかそういうことをちょっと、自分たちの守備範囲をもうちょっと力を入れていかなければならない部分が本当はあるのではないかなと。これだけよそに支援できるのにどうして足元が弱いのかなと、ちょっとそういう。元々いろいろ自分たちの地域でⅢ型として取り組めたらなと希望的なものなんですけれども、皆さんが支援する、もちろん私もこれを続けるのは反対ではありませんけれどもⅢ型として地域を、地域の人たちが盛り上げていくとか、そういう使い方をしていくための枠だと考えれば、もうちょっといろんなのがあって、十分あってよそを支援しに行くというのであればまだ、もちろんいいしやっていること自体は悪いということではなくて本当に素晴らしいことだと思いますけれども、そこら辺ちょっと私としてスッキリしない部分として、ちょっとへそが曲がったような見方なのかも知れませんがそこら辺も皆さんからご意見をいただければと思います。以上です。

## ○会長

今の根本委員のⅢ型についてなんですけれども、最初のときの大曲でやった説明のときにⅢ型が少ないというお話でしたか。それで、できるだけⅢ型を出していただきたいような、そういう説明があったような気がするんですけれども。

### ○事務局（地域活性化推進室）

太田地域に関しては、地域枠予算はⅠ型・Ⅱ型・Ⅲ型とあるんですけれども、Ⅰ型は行政がやった方が効率が良く効果が上がるもの、Ⅱ型が団体から申請いただいて、こちらとしては費用の一部を出します、団体さんからは人手を出していただいてという形での協働、そしてⅢ型も同様に補助金という形になりますけれども、あくまでも市といたしましてはできればⅢ型の方にシフトしていきたいと考えておまして、いつまでもお金だけ出しますとか、お金を出すからやって下さいとなってしまうと行政主導になってしまうので、そうではなくてやはり地域の方々が自主的に考えて動く事業に対して補助するという形が協働という意味では望ましいのかなと考えておりますので、そういう意味で今回のⅢ型の事業につきましても上限はあるんですけれども30万の補助を出しますと。それで団体さんの方からも自己資金は6分の1出していただいて、市と団体で地域活性化のための事業を行いましょうというような予算になっておりますので、何とかご理解いただきたいと思えます。

### ○会長

確か老松市長も来られたんですよ、あの説明のときに。それで、できるだけ事業をやって下さいというようなお話でしたので、根本委員が言われたようなⅢ型の事業をここにいらっしゃる委員の皆さまからもそういう提案とかをなさっていただいて。今のは今のいいんでしょうけれども、実際に地元の方に密着したようなそういう事業とかもできると思いますので、どんどん出して下さいというような、そういう市長からのお話が最初ありましたので、どんどん出していいのではないかなと思います。どちらかと言うと今までは事業が出てきたのを審議するというのが多いんですけれども、実際は地域協議会の最初の説明のときにやはり地域協議会委員がいろんな町のことを見て、いろんなことを提案したり、課題を出したりとか、そういうのもやっていただきたいというようなお話だったと思います。それで、皆さまからもそういう事業の提案とか出されてもよろしいと思いますので、今後何かそういうのがございましたらどんどん、この後のその他でも結構です。そういうときに挙げていただければと思います。はい、根本委員。

### ○根本委員

それで、今の話の延長ですけれども、どこがⅢ型の受け皿になっているのか、多分広報とか何かに載ったりしているのかも知れません。私あまり広報見なかったりするものだから、ものを知らなくてなのかも知れないんですけれども、一般の人たちにとっても地域枠予算を使えるとかという認識を持っている方はそんなにいないのではないかなと思います。或いは昔よりもやっぱり任意の団体というか、例えば昔であれば青年会だとか婦人会だと

か、そんな団体も昔のように活動はしていませんし、そういう団体の数がどんどん減って、地域のことに取り組みそうなグループというか、そういったやつも昔のように無いように思います。ですから、例えばいつか補助をもらえるんだったらその補助を受けれる団体として登録しておくとか、役所の係がどこになるかちょっと分からないけれども、それで何かのときに申請すれば、順番待ちをしなければいけないときもあるかも知れないけれどもそういう何か。お互いどこにお願いすればいいのか、誰がお願いしてくるのかという、そういった地域とⅢ型を使うことについての、もうちょっと使いやすくと言えればいいか。大曲なんかはむしろⅢ型がすごく多くて整理するのに大変なような話もちょうと聞いたことがあるんですけども、太田の場合はⅠ型・Ⅱ型がほとんどでⅢ型については予算を余らせているというような部分もあったように思いますので、できればせつかく地域に与えられた予算であれば地域にどんどん使ってもらえるような仕組みづくりをしてもらえればと思います。以上です。

## ○会長

富木委員、お願いします。

## ○富木委員

今の事業についてですけども、どういう事業が該当するのか、それから他の地域ではどういった事業を行っているのか、そういうのが分かれば、よそではこういう事業をやっているからこれはもしかすればやれるのでないかなとか、そういうことを少し教えていただければ。知識として何か漠然と地域で何をやるのか、昔の餅つきをやるとか天筆やるとか、そういった事業についてもよそでは該当になるのもあるようですけれども、できればどういった事業があるのかなということを教えていただければなと思いますけれども。

## ○事務局（地域活性化推進室）

分かりました。なかなかリアルタイムに他の支所の状況が入ってくるわけではありませんで、やはり年度末とかになってみないと各支所でどういった事業をこの地域枠予算を使って行ったかというのは分からないところはありますけれども、まず届き次第この地域協議会の場で皆さんにお知らせしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それから地域枠予算のⅢ型につきましては広報の予算特集号にも少し載せてはおりましたけれども、やはりなかなか皆さんに周知というかPR不足な部分はあるかと思しますので、そこは年度始めにあらためてまた考えたいと思います。

このⅢ型の事業ですけども、知らない方も多と思いますけれども、そこで大事になってくるのがこの地域協議会委員の皆さんだと思います。皆さんいろんな会合ですとか集まりの場に出席する機会もあると思いますので、飲みながらでも結構ですけどもちょっと、実はこういった予算があるんだよとか、こういう事業を考えているんだけどというようなことをもし聞くような機会がありましたら聞いて、そしてこの場を出していただければ対応できるものもあるかと思しますので、何とか皆さんからも地域枠予算の周知の方を

よろしく願いいたしたいと思います。

○会長

大仙市のホームページとかに載っていないんですかね。

○事務局（地域活性化推進室）

地域枠予算のことは詳しくは載っていないです。

○会長

それでは、⑮についていろんなのが出ましたけれども、適正と認めてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○会長

それでは、適正といたします。

以上で事業の検証が終わりました。ただいまの検証の結果、全て適正ということでしたので、現状のまま継続することといたします。事務局から補足とかございましたらお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

ご協議ありがとうございます。3ページの真ん中のところ、今後の方向性ですけれどもAの現状のまま継続とさせていただきます。その下の枠ですけれども、ただいま皆さんからいただいたご意見等を録音しておりますので、それを起こして応援隊の方に報告させていただきたいと思います。それで、現状のまま継続となっておりますので来年度からまた申請があった際は3年間そのまま申請を受けまして、3年後にもう一度こういった形で検証シートを用いて事業の効果ですとかをご協議いただくこととなっております。以上です。

○会長

それでは、次に7番の「その他」ですけれども、委員の皆さんから何かございますでしょうか。はい、富木委員。

○富木委員

先程来から中学校のことでありましたけれども、中学校の校舎の屋根、随分ずっと前から赤くなっていたけれども、たまに言われているけれども、これはどこで直してもらおうとかあるんですか。

○藤澤館長

私も度々伺っております。学校の施設関係は本庁の教育指導課の方の管理になっております。そういう各地域の小中学校の施設の改修の要望をそこで取りまとめているわけですが、各地域からいろいろ上がっているようです。いろいろ精査をして優先順位を付けて修理しているそうです。太田中学校の屋根は確かに見た目はああいうふうに赤錆びてすごい現状なんですけれども、屋根の厚さとかそういうのがありましてまだ、優先順位が低くなっているようです。それで今しばらく待たせられているような状況だと伺っております。地域のお二人の議員も認識しております、いろいろ常々お話はされているようです。本庁の担当の方でも認識はしておりますので、今しばらくお待ち下さいと言いますか、そういう現状ですのでどうかご理解をよろしくお願いいたします。

## ○会長

よろしいですか。他にございませんか。はい、水谷委員。

## ○水谷委員

グラウンド・ゴルフ場の野外ステージだとか諸々の付属する施設がございます。この前のねりんピックや何かでも非常に活躍したんですけども、今と同じような話なんです、野外ステージなんかは柱に草が生えてきたんだ。それがいいか悪いかは別としても、ある程度手をかける時期にかけないととんでもないことになるというのはもう目に見えています。だけれども、これって地域予算でもないでしょうし、かといって無くせば非常に、年間何千人と来るお客さん、特に去年のねりんピックなんかは雨が降った中でやって、開会式をやっていたんですけども雨が降る直前にスパッとふれあい館の方に何千人という人が、2千人くらいの人が入って難を逃れたわけです。ああいう所というのは全国的、国際的にもありませんので、何に力を入れてやるかを考えるのはこれからだと思うんですが、そろそろ時期が来たのではないかと。どこで何とすればいいのかなと思っていますが。

## ○谷口課長

観光施設の維持管理は市民サービス課になっております。私どもも重々承知しております、実は何年来となく要望はしております。特に野外ステージ、見た目もそうですし、実は天井を見ますと筋交いが入っているんですけども、大工さんに聞いたらあれは強度を補強するためのものではなくて今のところ飾りにしかなっていないよと。あれは危ないよというようなことも言われています。そういったこともきっちり本庁の方には伝えているんですけどもなかなか、学校もそうですし観光施設の維持管理予算も非常に厳しくて、5年も10年もかかって要望してもなかなかつかないと。市全体の予算が厳しいとなれば、あそこはグラウンド・ゴルフ場、あか松庵、もみじ庵、それから動物舎等々たくさんありますけれども、なんだかんだ含めると10町歩くらいの広さになるかな、動物舎とかも含めれば。いろんな施設がありますけれども、あの中で1年に1つくらいずつ直していかなければいけないような状況です。ただ、いろんな方面からそういった声を私ども受けておりますので、これからも粘り強く要望はしていきたいと思っております。市の方としては

見栄えよりも要は安全性が優先のようで、まだ危なくないとなればまた優先順位が下げられて。ただ野外ステージに関してはちょっと強度が足りないということを言われていますので、強度の補強プラス外観の修理も要望はしています。まだちょっと予算の方の内示が出ていなくて2月に入れば分かるのかなと思いますけれども、そういった状況で大変皆さまにはご心配をかけていますけれども、そういったことで理解していただきたいというふうに思っております。

○会長

他によろしいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

それでは、ないようですのでその他をこれで終わります。  
事務局から何かありましたらお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【東部地区地域協議会委員合同研修会・交流会について説明】

○会長

それでは、本日の地域協議会はこれをもちまして閉会いたします。雪もだいぶ降っているようなので帰りは気を付けて。長時間にわたりどうもありがとうございました。

(午前11時42分 閉会)



太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

高 橋 洋

---

佐 藤 田鶴子

---